

新規事業採択時評価結果（平成26年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：茅野 牧夫

事業の概要

事業名	一般国道497号 (西九州自動車道) 松浦佐々道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 九州地方整備局
起終点	自：長崎県松浦市志佐町浦免 至：長崎県北松浦郡佐々町沖田免	延長	19.1km		
事業概要	一般国道497号西九州自動車道は福岡県福岡市を起点とし、佐賀県唐津市・伊万里市、長崎県松浦市・佐世保市を經由して佐賀県武雄市で九州横断自動車道長崎大分線に接続する延長約150kmの自動車専用道路である。 現在、約95kmが供用済であり、松浦～佐々間約19kmは、西九州自動車道唯一の未事業化区間となっている。				
事業の目的、必要性	本道路は九州北西部の救急医療アクセスの向上、緊急時の避難、救助活動の信頼性確保、観光産業・地域経済の活性化に大きく寄与するものである。				
全体事業費	約797億円	計画交通量	約11,600台/日		
事業概要図					

関係する地方公共団体等の意見	<p>【長崎県知事】</p> <p>西九州自動車道は、九州北西部の主要都市間の連携強化、交流促進を促す道路であり、特に本県の県北地域にとっては、地域経済の発展、活性化に欠くことのできない重要な道路です。</p> <p>当道路の全延長150kmのうち、松浦から佐々間の19kmについては、残された唯一の未着手区間となっています。</p> <p>高速道路ネットワークは全線つながってこそ最大限の効果が発揮されるものであり、当該区間の開通により観光業をはじめとした地域産業の競争力強化や救急医療体制の強化などに非常に大きな効果が期待されます。</p> <p>本県としては当該箇所の事業化を待望しているところであり、事業化のあかつきには円滑に事業促進が図れるよう最大限努力してまいりますので、平成26年度の新規事業として予算化していただきますようお願いいたします。</p>
----------------	--

学識経験者等の第三者委員会の意見	<p>・新規事業化については妥当である。</p>
------------------	--------------------------

事業採択の前提条件	<p>・費用対便益：便益が費用を上回っている</p> <p>・手続きの完了：都市計画決定手続き完了（H25.7.30）</p>
-----------	---

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.3	総費用：621億円 (事業費：585億円 維持管理費：36億円)	総便益：782億円 (走行時間短縮便益：656億円 走行経費減少便益：69億円 交通事故減少便益：58億円)	基準年 平成25年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.1 (交通量 -10%)	B/C=1.4 (交通量 +10%)		
		事業費変動	B/C=1.2 (事業費変動 +10%)	B/C=1.4 (事業費変動 -10%)		
	事業期間変動	B/C=1.2 (事業期間変動 +20%)	B/C=1.4 (事業期間変動 -20%)			
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	—	・注目すべき影響はない。		
		事故対策	—	・注目すべき影響はない。		
		歩行空間	—	・注目すべき影響はない。		
	社会全体への影響	住民生活	◎	・第3次救急医療施設までの救急搬送時間短縮による救命率の向上 [平戸市の60分圏内人口（離島除く）] 現況 52% → 整備後 71%（2割増加）		
		地域経済	◎	・佐世保～平戸～松浦を周遊する観光ルートが強化され、観光振興による地域活性化に寄与 [平戸市～佐世保市間所要時間] 現況 56分 → 整備後 40分（16分短縮） ・平戸市が福岡市から2時間圏（日帰り圏）となることにより新たな集客が見込まれ、観光振興による地域活性化に寄与		
		災害	◎	・現道の線形不良箇所や災害箇所等を回避し、緊急時の避難等においても機能する信頼性の高い高速ネットワークが形成される。		
環境		—	・注目すべき影響はない			
	地域社会	—	・注目すべき影響はない			
事業実施環境	○	・都市計画決定手続き完了（H25.7.30） ・長崎県知事、関係市町長より、松浦～佐々間の一括での平成26年度新規事業化について要望				

採択の理由

費用便益比が1.3と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる  
 また、松浦佐々道路の開通により救急医療施設への速達性向上、観光振興による地域活性化、緊急時にも機能する信頼性の高い高速ネットワークの形成など事業の必要性・効果は高いと判断できる。  
 以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

1. 事業の概要

事業名	一般国道497号 (西九州自動車道) 松浦佐々道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 九州地方整備局
起終点	自：長崎県松浦市志佐町浦免 至：長崎県北松浦郡佐々町沖田免	延長	19.1km		
事業概要 目的	一般国道497号西九州自動車道は福岡県福岡市を起点とし、佐賀県唐津市・伊万里市、長崎県松浦市・佐世保市を經由して佐賀県武雄市で九州横断自動車道長崎大分線に接続する延長約150kmの自動車専用道路であり、現在、約95kmが供用済である。 そのうち、松浦～佐々間約19kmは、西九州自動車道唯一の未事業化区間となっており、九州北西部の救急医療アクセスの向上、緊急時の避難、救助活動の信頼性確保、観光産業・地域経済の活性化に大きく寄与するものである。				
事業費	約797億円	3便益B/C	1.3		

2. 必要性の評価

(1) 課題の整理

評価項目	当該事業地域の課題・上位計画等	
防災・災害時の救助活動等	・松浦市全域や平戸市・佐世保市の一部において原発災害時の避難経路に指定されている現道は線形不良箇所等の課題を抱える箇所が多数存在しており、緊急時の避難・救助活動に支障が生じる恐れ。	<b>※九州圏広域地方計画(H21.8)</b> ・大規模災害時においても、救援・救護、災害復旧等に的確に対応できるよう、災害時における確実な避難・緊急輸送等を図るための迂回ルート等の余裕性(リダンダンシー)に優れた交通網の整備を推進する。 <b>※長崎県「規格の高い道路の成果目標」(H23.12)</b> ・災害発生時に重要な役割を果たす緊急輸送道路や代替ルートの確保
住民生活	・平戸市の約1.6万人は第3次救急医療施設への救急搬送時間が60分以上かかり、一刻を争う緊急的措置が遅れる恐れ。	<b>※九州圏広域地方計画(H21.8)</b> ・災害時・緊急時の救急医療等を受けられる生活環境を構築するため、基幹都市圏等に集積した高次医療サービスの広域的な享受を可能とする搬送手段、交通基盤等を形成していく。 <b>※長崎県「規格の高い道路の成果目標」(H23.12)</b> ・半島部・離島部における高次救急医療施設などへの搬送時間の短縮
地域社会 地域経済	・平戸市～佐世保市間には線形不良区間や幅員狭小区間が多数存在し、スムーズなアクセスを確保できず、周遊する観光ルートが形成されていないため、平戸・松浦では佐世保(ハウステンボス等)の近年における観光客増の需要を取り込めていない。	<b>※九州圏広域地方計画(H21.8)</b> ・広域的な連携による観光地の魅力向上を図るため、循環型の高次交通体系の形成を図りつつ、歴史・文化、健康・癒し等の魅力ある地域資源を結ぶ広域観光ルートの形成を進める。 <b>※長崎県「規格の高い道路の成果目標」(H23.12)</b> ・所要時間の短縮や定時性の確保による、産業振興や観光振興の支援
その他		

(2) 事業の必要性

本道路は九州北西部の救急医療アクセスの向上、緊急時の避難、救助活動の信頼性確保、観光産業・地域経済の活性化に大きく寄与するものである。
---

3. 有効性の評価

(1) ネットワーク上のリンクとしての評価

①主要都市・拠点間の防災機能の向上				
区間	リンクの評価		効果	評価
	現状(整備前)	(目標)整備後		
平戸市 (地域の生活の中心となる都市)	佐世保市 (地域の生活の中心となる都市) (重要港湾) (三次救急医療) (自衛隊駐屯地)	D → (B) B	・現道は津波浸水区域及び未改良区間を通過しており寸断される可能性があるため、災害危険性が高い。また、近傍の迂回路も脆弱である(Dランク)。 ・当該事業のルートは津波浸水区域及び未改良区間を避けて計画しており災害危険性の低いBランクに改善される。	◎
②ネットワーク全体の防災機能の向上				
リンクの評価			効果	評価
弱点度(整備前)	弱点度(整備後)	改善度		
1.5	0.9	1.7	・当該リンクの整備により、平戸市～佐世保市間の災害時の迂回が解消することにより、ネットワーク全体の防災機能が向上。	◎

(2) 当該事業としての評価

評価項目	事業による効果	評価
防災・災害時の救助活動等	・現道の線形不良箇所や災害箇所等を回避し、緊急時の避難等においても機能する信頼性の高い高速ネットワークが形成される。	◎
住民生活	・第3次救急医療施設までの救急搬送時間短縮による救命率の向上 [平戸市の60分圏内人口(離島除く)] 現況 52% → 整備後 71% (2割増加)	◎
地域社会 地域経済	・佐世保～平戸～松浦を周遊する観光ルートが強化され、観光振興による地域活性化に寄与 [平戸市～佐世保市間所要時間] 現況 56分 → 整備後 40分 (16分短縮) ・平戸市が福岡市から2時間圏(日帰り圏)となることにより新たな集客が見込まれ、観光振興による地域活性化に寄与	◎
その他		

(3) 事業の有効性

・当該事業の実施により、主要拠点間のリンクの評価がDランク→Bランクに改善するとともに、不通リンクの解消によりネットワーク全体の防災機能が強化される。 ・また、本事業において、緊急時の避難・救助活動において機能する信頼性の高い高速ネットワークが形成されるとともに、速達性の向上による救急搬送の改善や地域間の連携が促進されるなど有効性の高い事業と評価する。
--

#### 4. 事業実施環境・第三者意見

事業実施環境	<ul style="list-style-type: none"><li>・都市計画決定手続き完了（H25.7.30）</li><li>・長崎県知事、関係市町長より、松浦～佐々間の一括での平成26年度新規事業化について要望</li></ul>
長崎県	<p>西九州自動車道は、九州北西部の主要都市間の連携強化、交流促進を促す道路であり、特に本県の県北地域にとっては、地域経済の発展、活性化に欠くことのできない重要な道路です。</p> <p>当道路の全延長150kmのうち、松浦から佐々間の19kmについては、残された唯一の未着手区間となっています。</p> <p>高速道路ネットワークは全線つながってこそ最大限の効果が発揮されるものであり、当該区間の開通により観光業をはじめとした地域産業の競争力強化や救急医療体制の強化などに非常に大きな効果が期待されます。</p> <p>本県としては当該箇所の事業化を待望しているところであり、事業化のあかつきには円滑に事業促進が図れるよう最大限努力してまいりますので、平成26年度の新規事業として予算化していただきますようお願いいたします。</p>
社会資本整備審議会 道路分科会 事業評価部会	「新規事業化については妥当である。」との意見を頂いた。
社会資本整備審議会 九州地方小委員会	<ul style="list-style-type: none"><li>・「新規事業化については妥当である。」との意見を頂いた。</li><li>・B/Cに現れない効果が大きい。松浦佐々道路により、福岡から松浦・平戸、佐世保・ハウステンボスとつながってくると新しい大きな魅力ができ、大きな経済効果も期待できる。</li><li>・国防の観点からも有事の際に大きく貢献すると思われる。</li><li>・平戸市の一部の教会は、世界遺産登録に向けて準備を進めているところであり、松浦佐々道路は大きく貢献すると思われる。</li></ul>

#### 5. 対応方針

<p>・当該事業により、九州北西部の救急医療アクセスの向上、緊急時の避難・救助活動の信頼性確保、観光産業・地域経済の活性化等の効果が認められることから、防災機能の評価結果も踏まえ、当該事業の必要性・有効性は高いと判断できる。</p> <p>以上より、本事業を平成26年度予算要求の新規事業箇所として要求する。</p>
--